

# 東松島市立小野小学校

2014年 11月 21日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)  
北林 雅洋(香川大学教育学部)

## 【文献】

- (1) 「saveMIAK」博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報 <http://savemlak.jp/wiki/saveMIAK>
- (2) 『2万5千分1 浸水範囲概況図 宮城県』国土交通省国土地理院 <http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40017.html>

## 【場所】

海岸から約4km、鳴瀬川から約200mの位置にある。

住所:宮城県東松島市小野浦丁39

※他の学校と統合して桜華小学校として再開。



## 【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階、体育館、校庭が浸水。(1)

## 【震災当日の様子】

津波により周囲が浸水している地域であるため、校舎または体育館に避難していたと考えられる。(2)

## 【調査して言えること】

海から4km離れた場所にある学校だが、標高が1.5mほどしかなく、川から200mの距離にあるため、地震の際に津波を警戒する必要がある学校である。

学校のすぐ近くに山があり、山に続く学校横の道路を200mほど行くと神社や公園の入り口があり、学校外への避難がしやすい学校である。



統合した桜華小学校(2014/11/1撮影)

※小野小学校の校舎が利用されている。



小学校の屋内運動場と山(2014/11/1撮影)